1月1日住所	弘前市大字	氏名	

○農業所得の内訳

経営面積	水田	りんご畑	普通畑
	アール	アール	アール

	区分		数量	金額
収入金額	水稲	農協販売分	俵	円
		家事消費・贈答分		
		小計		
	りんご	農協販売分 期首(30年産仮渡金額) ア	箱	
		30年産販売金額 イ		
		元年産販売金額 ウ		
		期末(元年産仮渡金額) エ		
		計(イ＋ウ＋エーア)		
		市場販売分		
		加工用		
		家事消費・贈答分		
		小計		
	その他			
		家事消費・贈答分		
	雑収入			
	元年末在庫			
収入金額合計(申告書表面A収入金額欄へ)			A	円

必要経費	雇人費 労賃・賄い費など	円	修繕費 事業用資産の修理費等	円
	小作料・賃借料 農地の賃借料など		動力光熱費 ガソリン代など	
	減価償却費 下段内訳より		作業用衣料費 ヤッケ、長靴、手袋代など	
	利子割引料 事業用借入金利子		農業共済掛金 農業用共済掛金	
	租税公課 事業に関する税金		荷造運賃手数料 包装費用や運賃など	
	種苗費 種もみ代、苗代など		土地改良費 土地改良事業費など	
	肥料費 肥料代			
	農具費 農具代			
	農薬衛生費 農薬代、共同防除費など			
	諸材料費 農業資材代、箱代など		雑費	
必要経費合計(申告書表面B必要経費欄へ)			B	円

○営業等所得の内訳

収入金額	売上金額	円
	家事消費	
	その他の収入	
収入金額合計(申告書表面A収入金額欄へ)		A 円

必要経費	売上原価	期首 ア			円
		仕入金額 イ			
		期末 ウ			
		差引原価(ア＋イーウ)			
	給料賃金 従業員の給与など	円		通信費 電話料、切手代など	円
	外注工賃 下請への発注額など			広告宣伝費 宣伝費用	
	減価償却費 下段内訳より			接待交際費 顧客への接待費など	
	地代家賃 店舗等の賃貸料			損害保険料 事業用資産の保険料	
	利子割引料 事業用借入金利子			修繕費 事業用資産の修理費等	
	租税公課 事業に関する税金			消耗品費 事務用品代など	
	荷造運賃 包装材料費など			福利厚生費 事業主負担の保険料	
	水道光熱費 事業用の水道光熱費				
	旅費交通費 電車代、バス代など			雑費	
必要経費合計(申告書表面B必要経費欄へ)				B	円

◇雇人費・給料賃金の内訳

(農業・営業等所得の必要経費の雇人費・給料賃金欄へ)

住所		氏名
作業名	日数	現金・現物
	延 日	円
住所		氏名
作業名	日数	現金・現物
	延 日	円
住所		氏名
作業名	日数	現金・現物
	延 日	円

償却率(ＣⅠ)、(ＣⅡ)は申告書裏面を確認してください。

◇減価償却費の計算

平成19年４月１日以後に取得した減価償却資産《償却率は申告書裏面の ＣⅠ を確認してください。》

減価償却資産の名称等	取得年月	取得価額(A)	償却の基礎になる金額(B)	耐用年数	償却率(ＣⅠ)	本年中の償却期間(D)	事業専用割合(E)	必要経費算入額A×ＣⅠ×D×E
	・	円		年		／12月	%	円
	・					／12月		
	・					／12月		
計		(農業・営業等所得の必要経費減価償却費欄へ)						円

平成19年３月31日以前に取得した減価償却資産《償却率は申告書裏面の ＣⅡ を確認してください。》
(償却可能限度額まで達した償却資産は、その翌年以後５年間で残存価額を均等に１円まで償却することができます。)

減価償却資産の名称等	取得年月	取得価額(A)	償却の基礎になる金額(B)	耐用年数	償却率(ＣⅡ)	本年中の償却期間(D)	事業専用割合(E)	必要経費算入額B×ＣⅡ×D×E
	・	円	円	年		／12月	%	円
	・					／12月		
計		(農業・営業等所得の必要経費減価償却費欄へ)						円